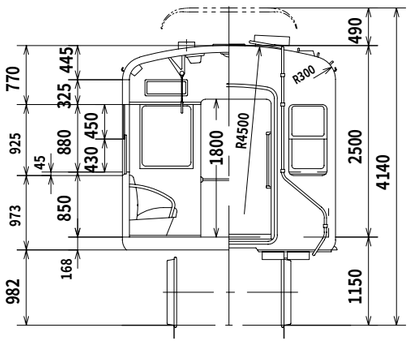
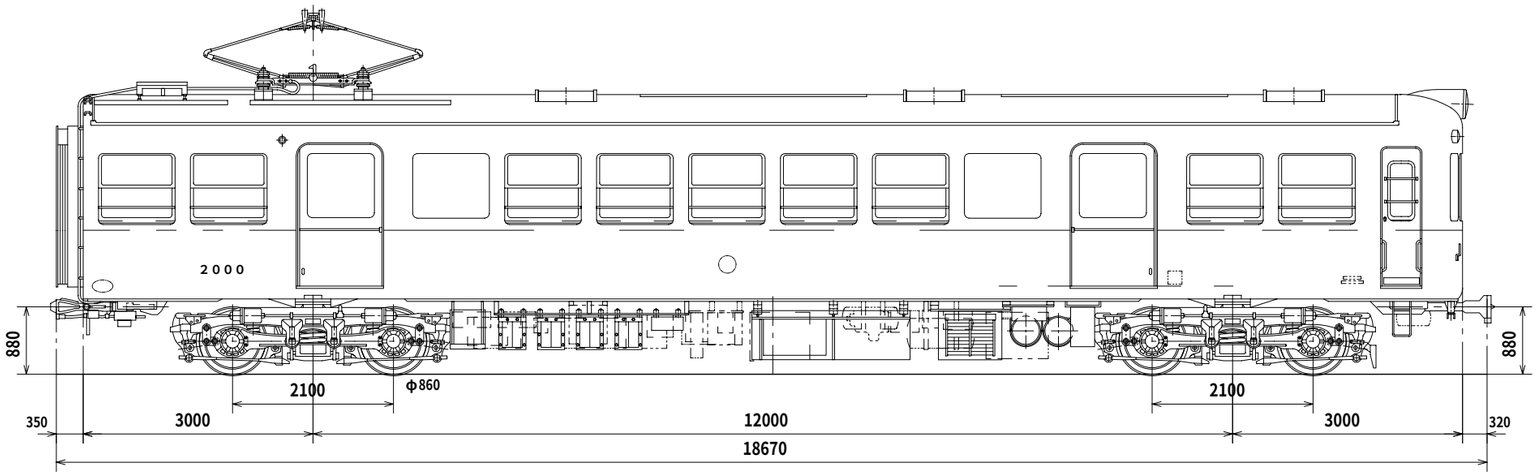
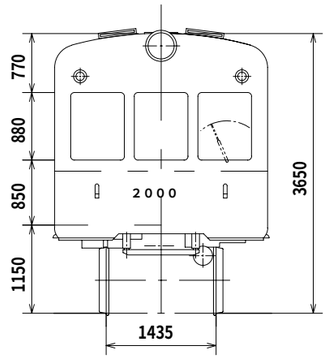
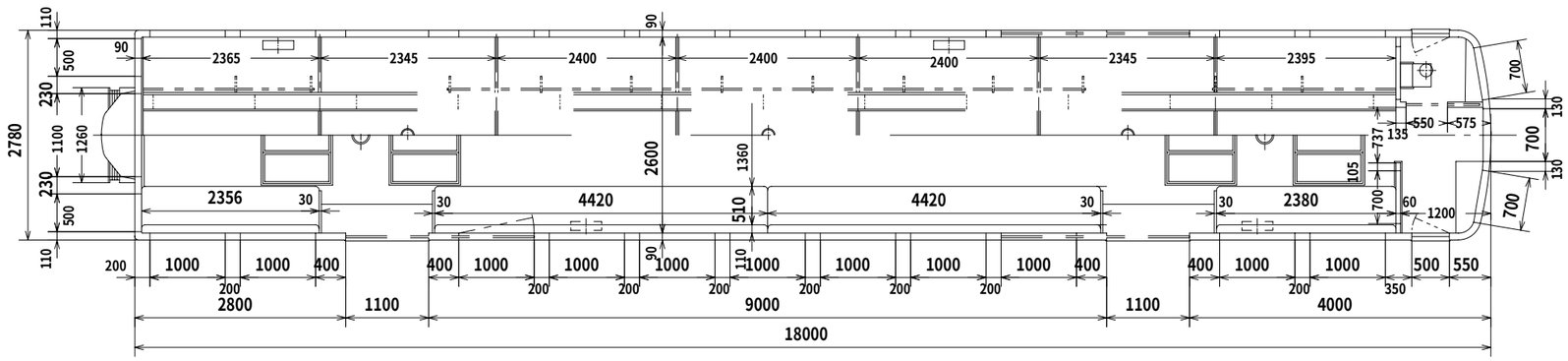
山陽電鉄　2000型　形式図

1956年からデビューした高性能車
同じ形式でありながら3扉車もあり、いくつかのグループに分かれるが、図はその内のトップ№2000+2001固定編成のパンタ付きの方を示した
前面窓をはじめ、すっきりした外観をしており、台車はOK15を取り付けている
メーカーは川崎車両、塗色はクリームとブルー、なお、後期グループにはステンレスカーやアルミカーがあり、まったく違うスタイルをしている